



第448回月例スナツ

写真・インタビュー 中山 浩明

仲間1 5772三浦凛人君他 2144佐藤夏帆さん、2145福井涼風さん、1276高阪七葉さん、1472中森花音さん、1307氏家帆乃香さん、1491早田澪さん。幼稚園年中から小学2年生までのなかよしランナーチームです。今回は初めての子が多いですが、中には20回目・25回目30回目の子どももいます。みんな下丸子に住んでいるのでふだんは多摩川土手を1〜3kmくらい走っています。

仲間1-2 2019山添哲也さん、2772長瀬昭徳さんのお友達チーム。1914有福萌々羽さん、5723同悠汰くん、3024長瀬蒼季くん、2920山添雄介くん。蟹ヶ谷からきました。1kmの他に3kmにも挑戦した子もいます。暑さで最後はバテましたが、なんとか走りきりました。こんなにつかれたのは久しぶりです。また来月がんばります。

月例マラソン・新人さん紹介

秋田県能代工業高校出身の18歳です。今年、多摩川クラブに入会し皆さんと一緒に練習に励んでいます。一ヶ月に約350kmくらい走っています。1500mのベストが4分33秒なので、早いに4分30秒を切りたいと思っています。また5000mは16分台を出すのが目標です。走る練習の他に筋肉の補強トレーニングにも力を入れています。早く走るには筋力強化も重要だと考えているので、かなりの時間をさいて筋トレをしています。

女子5km2回目 1位 1238 田中 光さん

いつもは鶴見川のコースで練習しています。1回に走る距離は5〜6kmくらいですね。今は旭化成東京のジョギングクラブに所属しています。大阪国際女子マラソンは3〜4回走ったことがあります。自己ベストは2時間40分です。今はそんなタイムは出せないのが楽しみながら走っています。今日は川崎月例マラソンに参加して勝負という感覚を楽しませてもらいました。また参加してみたいと思っています。

クラブ紹介1 「チームSKY」



第448回月例参加者動向

2013.6.30 曇 C 0m/s 28.9 53% WBGT 24.6°

種目	男子	女子	合計	
2回目5k	385	42	427	
5k	372	65	437	
3k(A・B)	幼少	26	45	
	中学	17	18	
	大人	370	58	428
	計	406	85	491
子ども1k	120	80	200	
延べ出場者	1283	272	1555	
初参加者	119	46	165	
棄権	44	15	59	
延べ参加者	1327	277	1604	

年間累計出場者 ( ~6月 7049 )  
実数 1095 ( 昨年同月は 7655名 )

東京マラソンに参加したときに知人から、この川崎月例マラソンのことを聞き、今回初めての参加です。全員、慶応大学・日吉キャンパスの3年生です。みんな走ることが趣味で、楽しみながらランニングをしています。今日の蒸し暑さには苦しみましたが、女神様を中心とした団結力でみんながんばってゴールしました。

1回目5kmワンツィー。1位3790 田中大喜君 (高3) 2位3948 多田駿介君 (高3)

クラブ紹介2 「豊洲ランニングクラブ」  
メンバーは11人です。

練習場所は地元の豊洲を中心にお台場・皇居などいろいろです。夢の島6時間リレーマラソンに出場したり、夢の島陸上競技トラックでインターバルトレーニングを行っています。1kmを7本走ります。練習はかなりハードですがチーム一丸となつてがんばっています。また今年のフルマラソンはつくばマラソンと湘南マラソンを予定しています。



「蝉」

162 山下 覚

緑園都市の街路樹を散歩していると、8月末の厳しい残暑が頭上から燦々と射している。そして木々の上から最後の力をふりしぼるかのようにはげしく鳴いている。いっぽう役目をおえた蝉は屍骸となつて並木側の路上や、ときにはマンションの廊下などで仰向けに転がっているのをよく見かけた。小学生のころ石垣島では、ヤクマクマゼミ(日本最大のゼミ)とイワサキクマゼミ(日本最小のゼミ)が真夏の暑さを強調するようにはげしく鳴いていた。

アダン(ソテツ)の葉っぱを組み合わせた手づくりの虫かごを作って、悪方千仲間と蝉狩をやった。(昔は木材だった電柱の上でかんに鳴いている蝉を見つけると、真下から気づかれないように、そつと上つていき、素手で確保するのである。ほとんど小便をかけたときは興奮したもので、運よく蝉を手にしたときは興奮したものである。そして仲間に対する優越感を味わうことが出来た。

蝉の生態をしらべてみた。すると鳴き方にもいろいろの意味があることがわかった。

仲間を集めるときは「本鳴き」。メスを交尾にさそうときは「誘い鳴き」。他のオスの近くで邪魔するように鳴く「じゃま鳴き」。突然少しだけ鳴く「ひま鳴き」。敵におそれられた時の「悲鳴」などである。

耳をすまして聞いているが、すべての鳴き声が、交尾にさそう「誘い鳴き」と、逃げる時の「悲鳴」の二種類にしか聞き取れないのだが、専門家の先生にはしっかりと聞き取れるようだ。

また幼虫は地中の木の根からの養分を吸って生育していくが、卵から成虫までの間、娑婆に出てくるまでイワサキクマゼミが2年、ニイセイセミ4年、アブラセミ、クマセミ、ミンミンセミは6〜7年そして、北アメリカの「周期セミ」などはなんと13〜17年も地中で成育し、地上に出てわずかに2〜3週間しか生きることができないのである。その短い日々を自分たちの子孫を残すため、必死に生きていく蝉たち、そしてひと夏が終わるころには、またあたらしい命が長い年月をかけて地中で生育する。そして絶滅するまで変わることなく繰り返される、蝉たちの運命である。(完)

編集後記

夏の暑い戦いは反核平和マラソン。戦いと言っても己との戦い。平和を願う核兵器廃絶を願うランナー一人一人の声での！。この反核平和マラソンへは広島市長(平和市長会議)長崎市長(非核宣言自治体協議会)からメッセージが寄せられ、神奈川県下の22県・市・町の首長からも激励のメッセージが寄せられます。その中で終着点の箱根町役場の山口町長のメッセージは「日本は唯一の被爆国として核兵器の恐ろしさや戦争の悲惨さを風化させることなく人々に伝えたい」と、東日本大震災から2年が経過し被災地の復興はもとより、東電福島第一原発の事故による「原子力災害」からの復旧をはじめとし多くの課題が山積しています」と述べられ被災地の復興のため町が出参するものは何かを検討し実行して参りたい」と結ばれました。

2年の歳月を経て未だに避難生活を余儀なくされている方々のことを忘れがちになる昨今、また戦後68年を経て「平和憲法」の大切さが薄らいで政権党の「戦争の出来る国」にしようとする思想が、まことしやかに語られるようになってきたら。どつこい8月6・9日の広島・長崎、12・16日の韓国平和マラソンへ続く反核平和マラソンだぜ！。

バーコードは胸、NOIC前左下吊り下げて下さい  
バーコード・NOICは自己管理です。紛失でのバーコード再発行 500円  
NOIC再発行の場合は、3000円かかります  
連続賞 49 15 25 35・50 65 80 100 130 150 180 200・250・300回があります。  
15回はNOIC 刷込みシャツ。  
50回・100回は、賞品をドロフイー又は額入り本人写真の選択可。  
また百回・二百回連続賞は、月例チケット。順に(6ヶ月分)(一年分)の選択制(どちらも事前申し出制)連続賞は三百回まで、連続三百回達成者は月例名誉会員となります。

棄権届「郵便振替」  
名義：新日本スポーツ連盟RC  
番号：00261433100  
違いと記録に載らない場合があります)